

JR 茨木駅西口周辺 まちづくりワークショップ 第1回 キックオフミーティング

J R 茨木駅西口周辺まちづくりワークショップとは？

現在、茨木市ではJR茨木駅西口駅前周辺の再整備に向け検討しています。皆様の暮らしをより良くするために将来、JR茨木駅西口周辺がどうなれば良いか、駅前でどのように過ごしたいかなど参加者の皆様と一緒に考えるワークショップを開催します。

開催概要

- 開催日時：令和4年3月12日（土）午前10時00分～正午
- 開催場所：茨木市役所南館8階中会議室
- 参加者：39名

開会あいさつ（福岡市長）

次のまちづくりという意味では、老朽化しているから新しくというマイナスをゼロにすることだけでなく、さらにゼロからプラスにしていくことが事業を推進する力になると思っています。

建物が出来て終わりというわけではありませんし、建物ができるまで始まらないわけでもないと思っています。IBALAB@広場では建物ができる前から皆さんの活動呼び込みながら様々な実験を重ね、できた暁にはそれにしっかり載せていくという流れを作っています。

本日のワークショップや、これからも多くの皆様のご意見を伺いながら、共にまちづくりを進め、再整備を成し遂げたいと思っています。

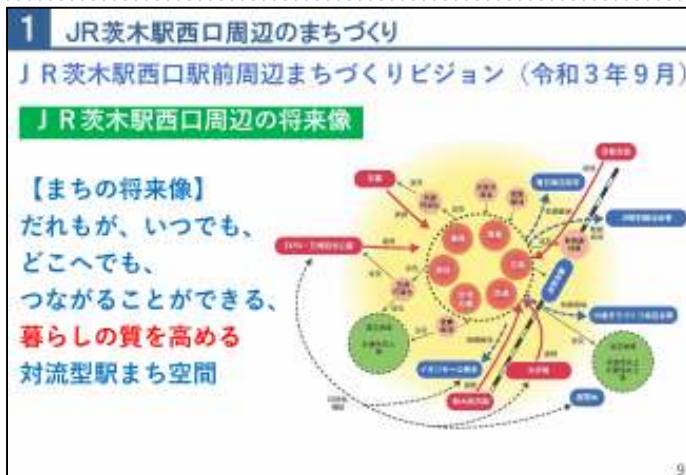


福岡市長

1. JR 茨木駅西口周辺のまちづくり

参加者の皆さまとまちづくりを考えていくにあたり、これまでの市の取組みとして、令和3年9月に策定した「JR茨木駅西口駅前周辺まちづくりビジョン」や、令和3年12月に実施したWEBアンケートの集計結果の概要などをご説明いたしました。

また、再整備に向けた大きな流れ（予定）をご説明し、「JR茨木駅西口駅前周辺整備基本計画（以下、基本計画）」の策定に取り組んでいることや、策定に向けて、多くの皆さまから意見を頂戴していくため、本日のワークショップやWEBアンケートといった取組みの位置付けについて、ご説明させていただきました。



J R 茨木駅西口周辺の将来像

2. ワークショップ開催趣旨の説明

JR茨木駅西口周辺は、市民や駅利用者など、色々な方々に利用されています。そのため、まちづくりビジョンに掲げる「暮らしの質を高める」まちづくりは、色々な方々と一緒に考えていく必要があるため、本ワークショップの開催に至りました。

また、アドバイザーの久教授から参加者の皆さまに期待することをワークショップの解説も加えて以下のようなお話をいただきました。

【ワークショップと基本計画】

ワークショップでまとめたことに様々な別の観点も加えて基本計画をまとめていきます。再整備検討区域には権利をお持ちの方々もおられますので、ワークショップでまとめたことがそのまま基本計画に反映され、最後の実現に活かせるという保証はできません。そこをご理解いただいた上でご参加いただければと思います。けれども、参加者の皆さまの「想い」は市が受けとめ、活かしていきたいということでこのワークショップをスタートさせていただいたところです。

【皆さんの「想い」を教えてください】

参加者の皆さまには、再整備後にどういう使い方や暮らし方をしたいのかという「想い」を教えてくださいたいというのが私の期待です。それがわかるとそれをどうやって実現するかという話に移れます。

【駅西口の役割を考えるにあたって】

再整備検討区域だけを考えるのではなく、周辺地域も含めたもう少し広いエリアを考えていただきたい。茨木駅周辺の魅力は、色んなところに素敵なお店とかが分散していて、歩いて楽しいところだと思います。市役所やおにクルなどの中心街の玄関は、どちらかというと東口。JR茨木駅西口と東口の役割の違いを意識してみてください。これからはいいまちづくりと一緒に考えていきたいと思いますので、よろしくお願いたします。

3. まちづくりの事例紹介

ファシリテーターの阿部准教授より、ワークショップでの議論がどのように実現に繋がっていくのか、まちづくりの事例紹介も踏まえてお話いただきました。

【まちの何を大切にしたいのか】

気仙沼では、「海とまちの関係を大切にしたい生活の実現」がコンセプトでした。JR茨木駅西口のコンセプト、玄関口としての設えみたいなことをワークショップで議論をしていければと思っています。

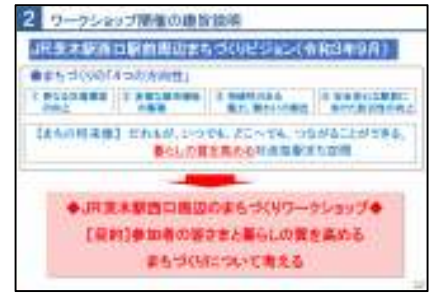
【ワークショップで重要なこと】

重要なのは、駅前に何（施設や機能）を整備して欲しいか？ではなく、駅を利用されている皆さんがどのような生活・居場所にしたいのか？を考えることです。南草津では、駅前でしたいことをアクティビティカードや模型を使い議論しました。

【異なる立場の方々と議論していくことが必要】

今回のJR茨木駅西口のワークショップでは、住民、学生、働きにくる人など、異なる立場の方々が駅前での過ごし方（生活）を考えます。自分と違う意見をお互い共有しながら、その上で、どのような駅になって欲しいか考えましょう。

また、第2回のワークショップで予定しているまち歩きの視点についても教えていただき、第2回以降のワークショップの進め方を参加者の皆さんと共有しました。



本ワークショップの目的



アドバイザー（久教授）



ワークショップ開催風景



事例：UDCBK（草津市）でのワークショップ



ファシリテーター（阿部准教授）

4. 質疑応答

参加者

JR茨木駅の東西を自転車で往来できる地下道があると良いです。人が通過するだけの駅になっており、居場所が必要だと思います。

参加者

摂津市の南千里丘では、カーボンニュートラルの取り組みを行っており、そのような目に見える形の提案ができるように茨木市も頑張らないといけないと思っています。

参加者

30年後、50年後にどう駅前を使っていくか踏み込んで考える必要があると思いますが、何か考えられていますか？

事務局

そのような思いをワークショップで出していただくことが大事だと思います。次回以降のワークショップでも、ご意見を頂きたいです。

久教授

ワークショップで提案を行うときは、誰が維持管理していくのかということも重要です。他人事としてではなく、当事者意識を持って参加していただくと実現性が高まると思います。

阿部准教授

ライフスタイルの変化など、30年後、50年後を見据えつつ、今何をしていくべきか考えていくことが重要だと思います。

久教授

このワークショップの参加者は、20歳代から80歳代まで年齢層がとても広いです。周りの方の意見が、自分の何十年後と置き換えて考えることができるのがワークショップの良さでもあります。

参加者アンケート（一部抜粋）

1. 本日のキックオフミーティングで印象に残った内容や感想をお聞かせ下さい。

- ・久先生、阿部先生のご経験、ご意見、他市の話はとても印象に残りました。
- ・東口と西口でどのような違いがあるのか考える必要があると知った。また、その際、まち全体を広い視点でとらえて考えることが重要だと思った。

2. 普段、JR茨木駅西口周辺で利用する道やお店などがあれば教えて下さい。

- ・休日ランチのために西口駅前の飲食店を利用している。
- ・図書館や生涯学習センターへ行くのに「春日商店街」を通ります。
- ・特になし。立ち寄れる場所がない。

3. JR茨木駅西口周辺のまちづくりについて、あなたの想いを聞かせて下さい！

- ・通勤、通学の際に、駅周辺を素通りするだけでなく、そこで時間を過ごす人が増えるようなまちができればいいなと思っています。
- ・梅田へのアクセスがとてもいいからこそ、茨木らしい空間になればいいなと思いました。

第2回：まち歩き

- 【日時】 令和4年4月23日（土） 9：30～12：00（小雨決行）
- 【集合】 いばらきスカイパレット
- 【定員】 30人程度※応募人数が大幅に超える場合は、先着順とします。（4月1日受付開始）
- 【申込】 右のQRコードからお申込み頂くか、以下の内容を記載し、電話、FAX、メールにてお申込み下さい。①氏名（ふりがな）②住所 ③連絡先（電話番号・メールアドレス）
- 【問い合わせ】 茨木市都市整備部市街地新生課
TEL：072-620-1821、FAX：072-620-1730、MAIL：shigaichi@city.ibaraki.lg.jp

